

MRI 検査時の安全チェック

事例 酸素吸入中の患者さんを MRI 検査室に搬送したスタッフが、入室時に患者さんが金属製品を身につけていないかを確認した。診療放射線技師が、ストレッチャーを MRI のそばまで移動させたところ、酸素ボンベが飛び出し、MRI ガントリに吸着した。ボンベが飛んだときに危うく患者さんに当たるところであった。診療放射線技師は、酸素ボンベを MRI 専用のものと思い込んでいた。



❗ MRI 検査室には強い磁場が発生しています。磁性体（金属）などを誤って持ち込むと、大変危険です。



チェックポイント

- 入室前に患者さんが身につけているものの確認が済んでいるか？
- 搬送用のストレッチャーや車椅子、点滴スタンドやポンプは、MRI 対応のものか？
 - MRI 対応とそうでないものとの区別についても知っておこう
- 搬送するスタッフ自身が、金属製品（はさみやヘアピンなど）を身につけていないか？



MRI 検査室への搬送にかかわるリスクについて
話し合ってみよう！